



2026年3月期中間期 決算説明会

日精樹脂工業株式会社
2025年12月1日

2026年3月期中間期 業績の概要

2026年3月期中間期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 中間純利益	1 株 当 た り 純 利 益
2026年3月期 中間期	22,505 (1.8%)	△1,057 (-)	△449 (-)	△824 (-)	△42.88円
2025年3月期 中間期	22,105 (△2.1%)	151 (-)	193 (7.6%)	62 (-)	3.27円

売上

- ・材料価格、エネルギー価格の上昇等から国内および海外での設備投資に対する姿勢が慎重であったものの、海外を中心に大型機や特殊機の営業を強化したこと、部品の需要が堅調であること等から、売上高は前年同期比1.8%増の225億5百万円となりました。

利益

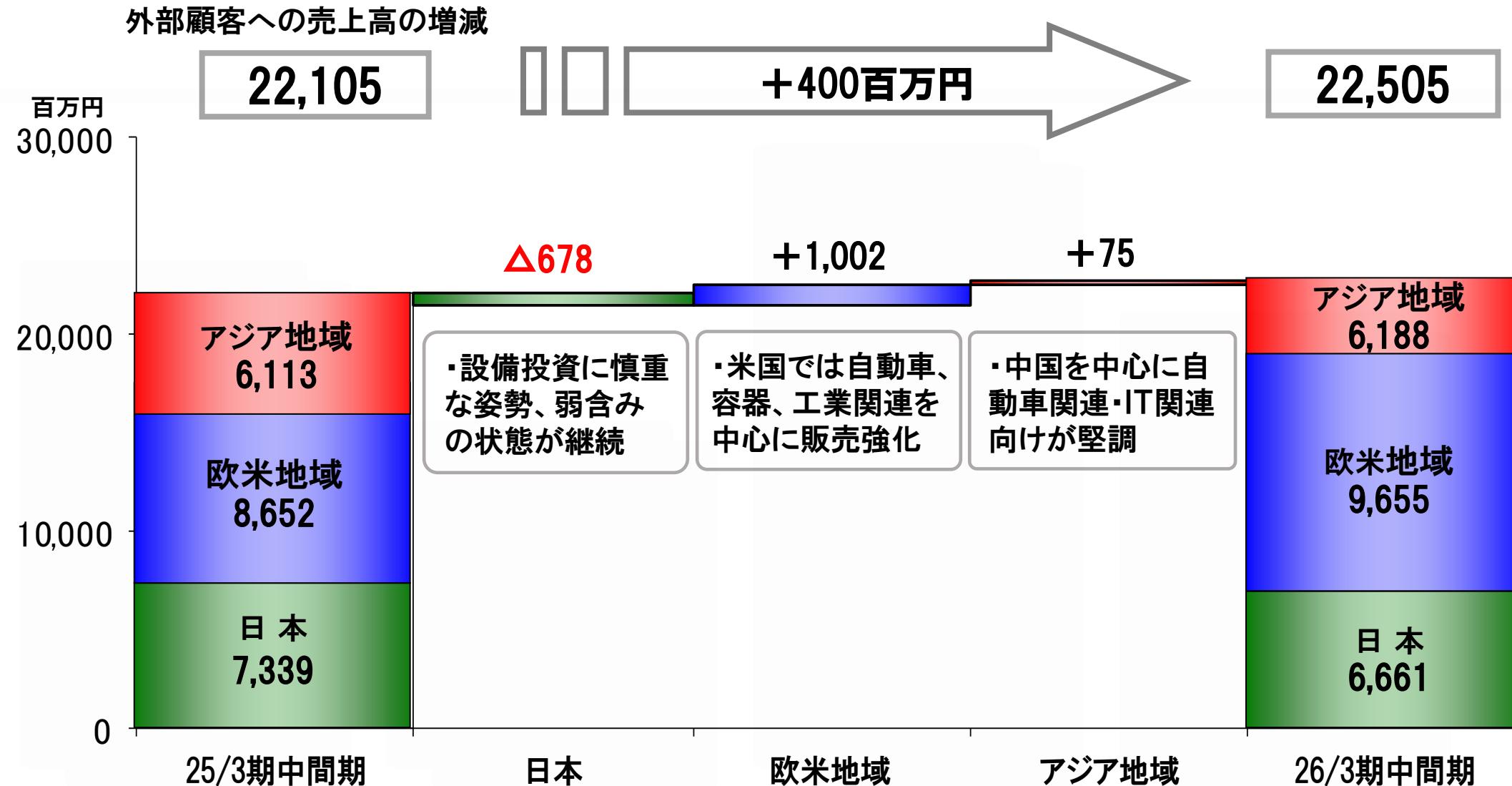
- ・部材価格の上昇および棚卸資産の減少により製造原価が上昇したこと等から営業損失10億5千7百万円となりました。経常損失は4億4千9百万円、中間純損失は8億2千4百万円となりました。

連結業績概要【前年同期比】

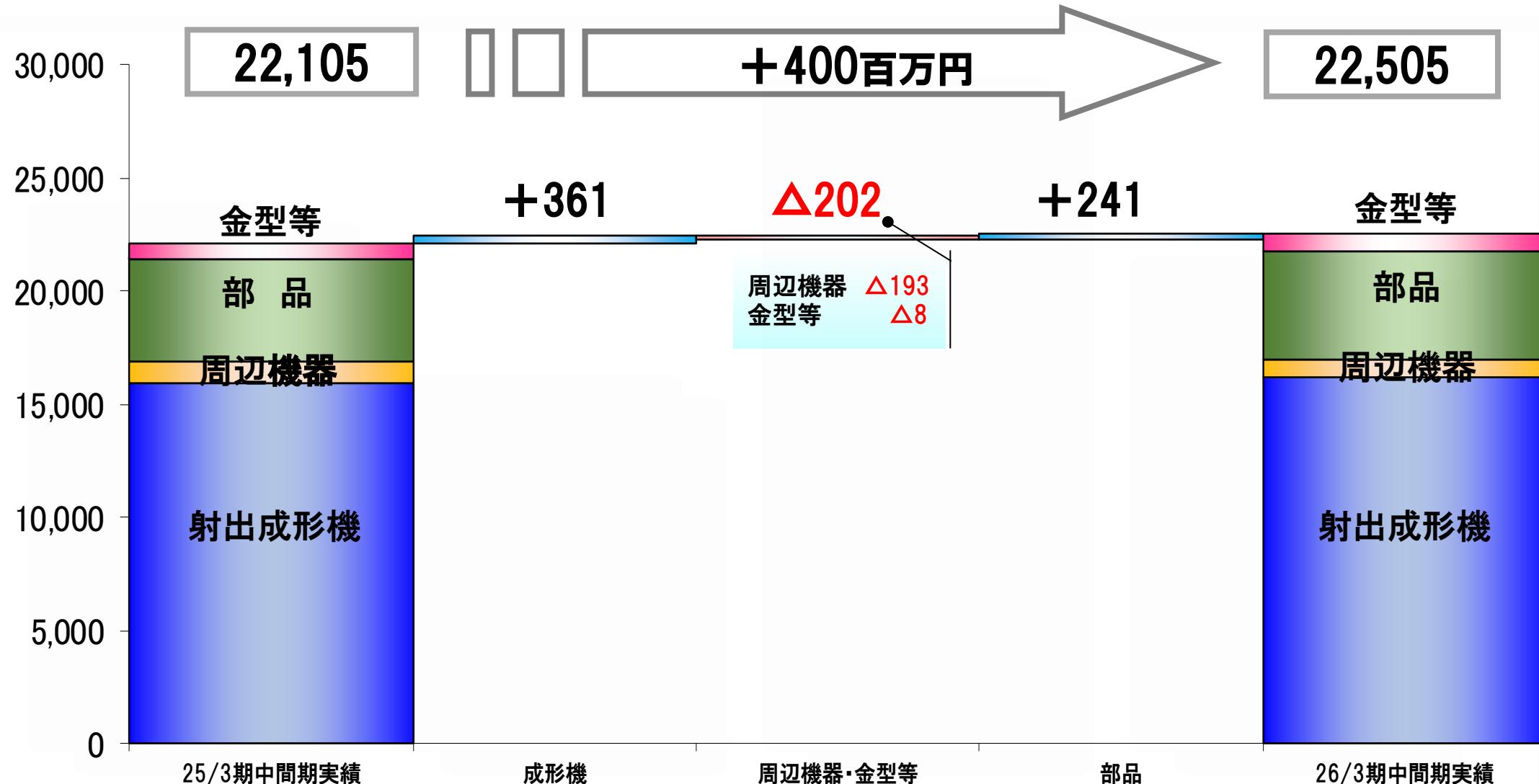
単位：百万円、比率%

	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	15,899	16,261	361	2.3
周辺機器	994	800	△193	△19.5
部品	4,548	4,789	241	5.3
金型等	662	653	△8	△1.3
売上高合計	22,105	22,505	400	1.8
売上総利益	6,723	5,468	△1,254	△18.7
一般管理販売費	6,571	6,526	△45	△0.7
営業利益	151	△1,057	△1,208	—
経常利益	193	△449	△643	—
親会社株主に帰属する中期純利益	62	△824	△887	—

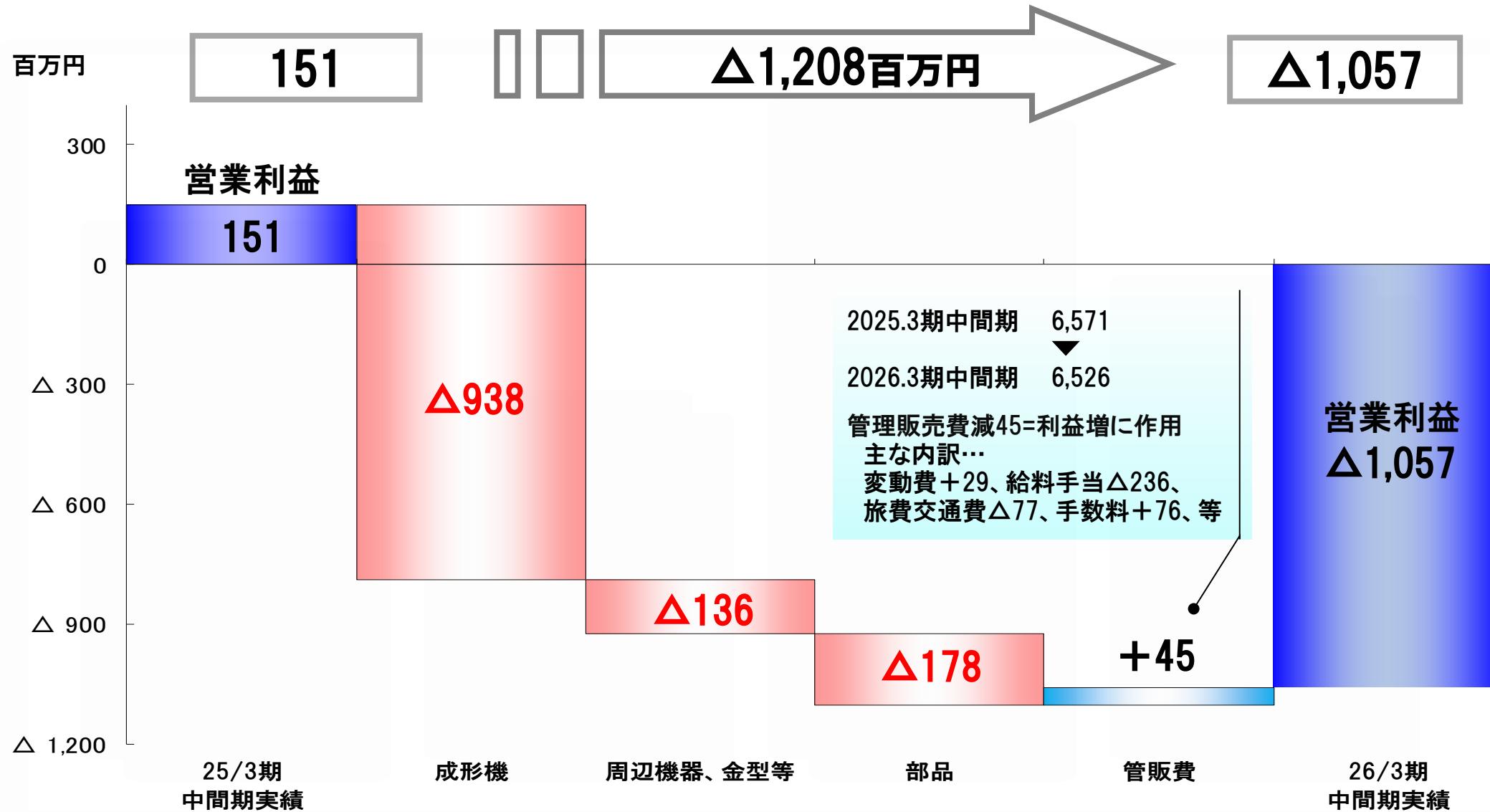
連結売上高(セグメント別)増減 [2025/3期中間期⇒2026/3期中間期]



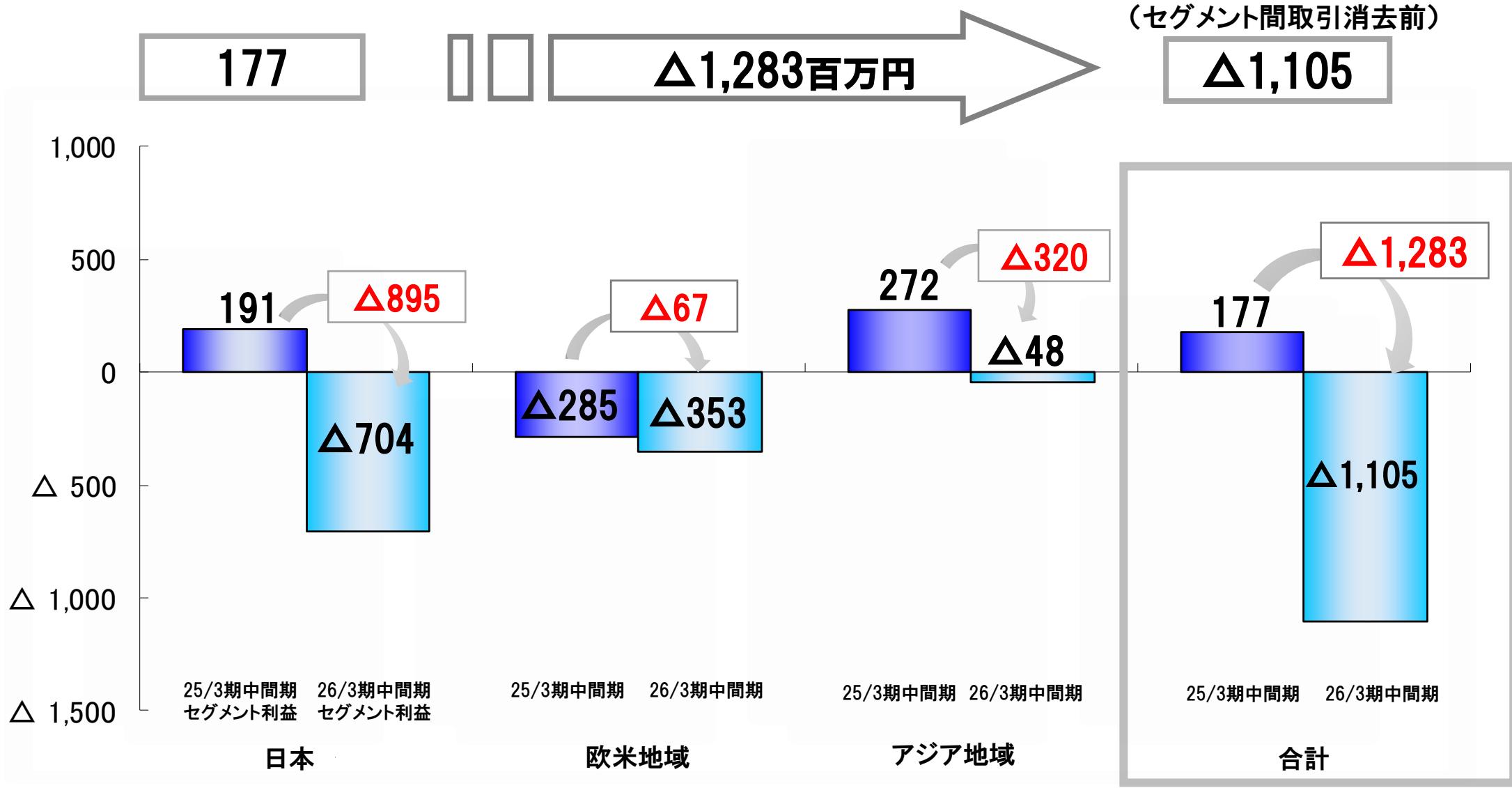
連結売上高(製品別)増減 [2025/3期中間期⇒2026/3期中間期]



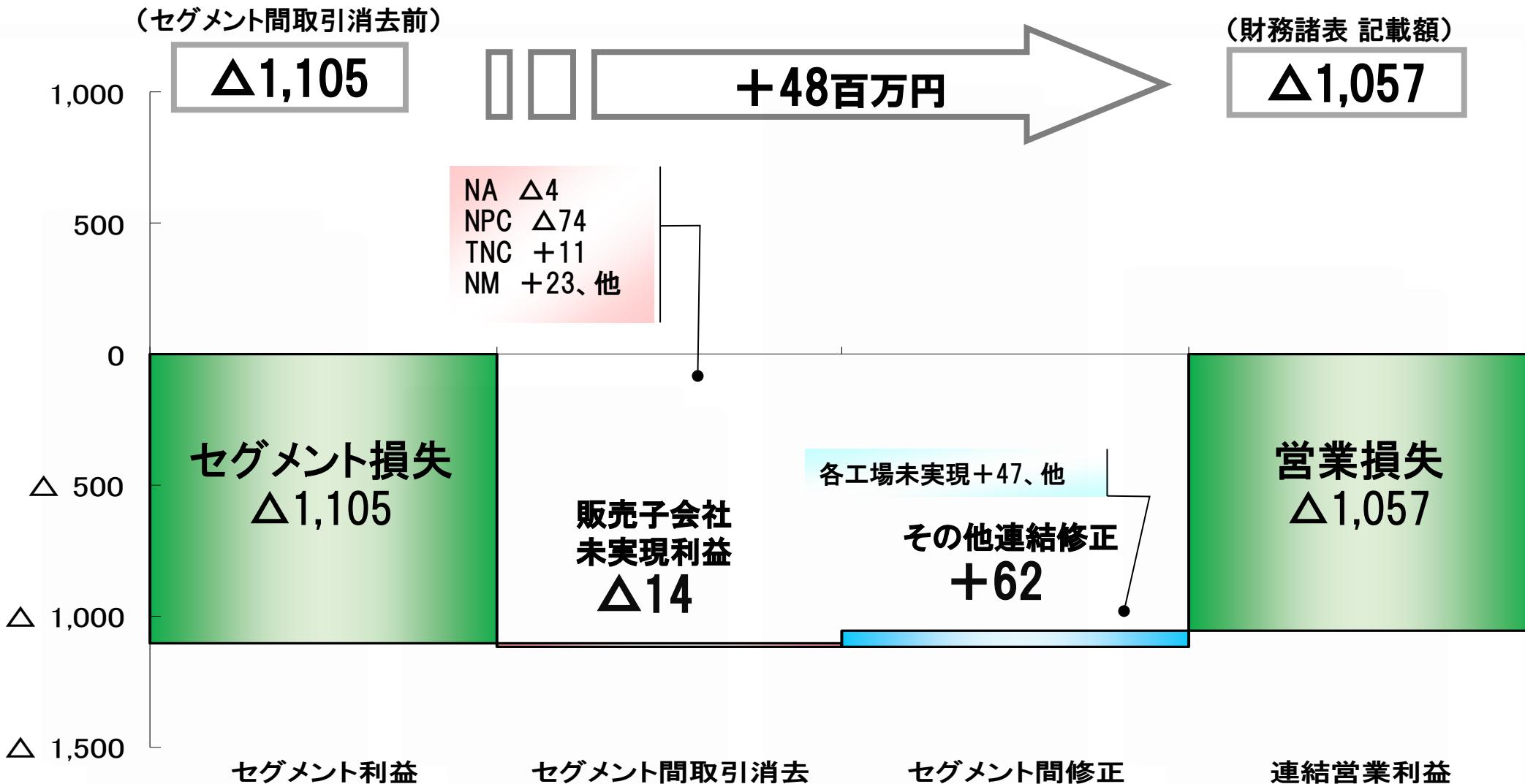
連結営業利益(製品別)増減 [2025/3期中間期⇒2026/3期中間期]



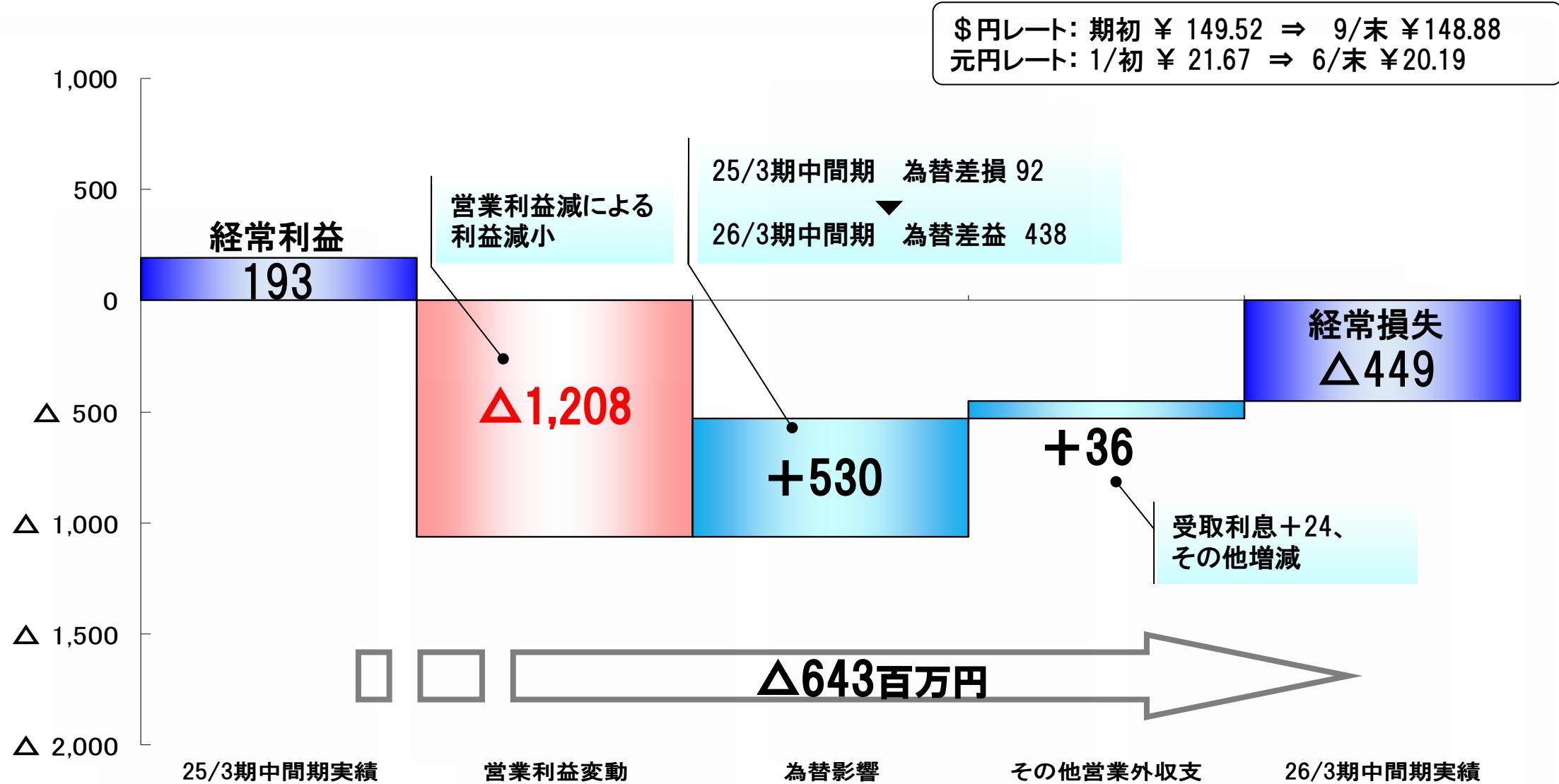
連結営業利益(セグメント別)増減 [2025/3期中間期⇒2026/3期中間期]



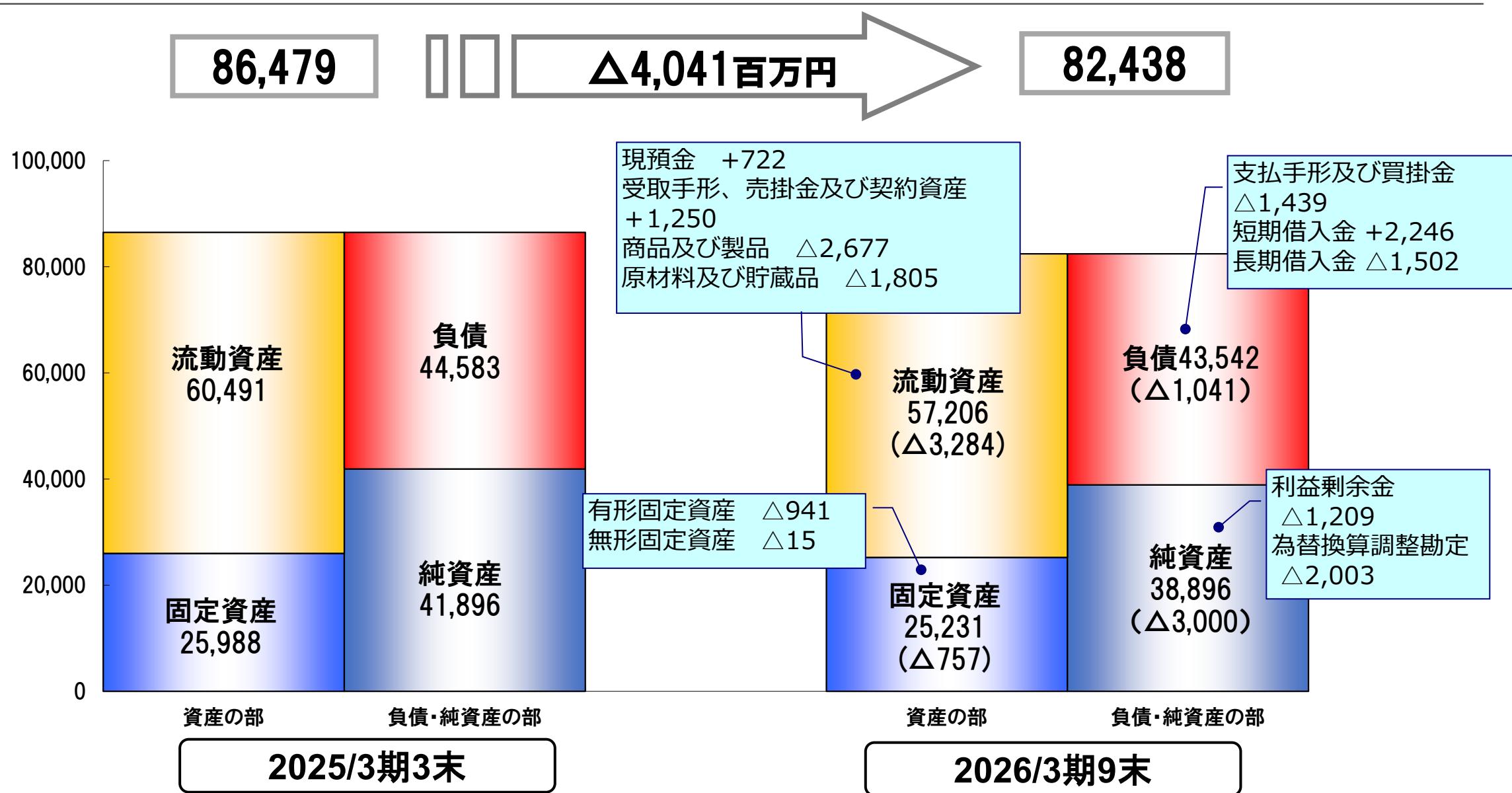
連結営業利益 ~セグメント間取引消去



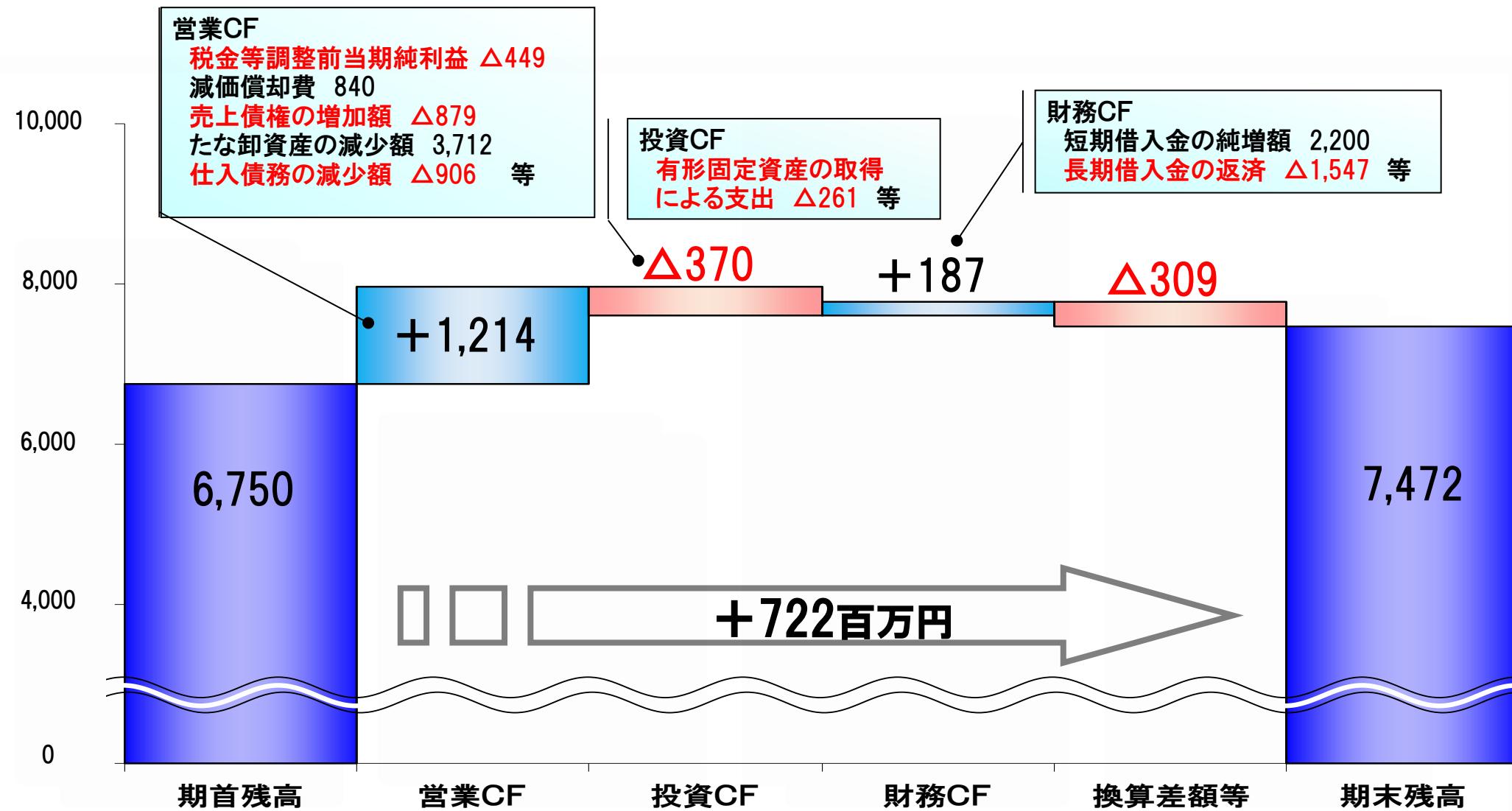
連結経常利益の増減 [2025/3期中間期⇒2026/3期中間期]



連結貸借対照表の増減 [2025/3期3末⇒2026/3期9末]



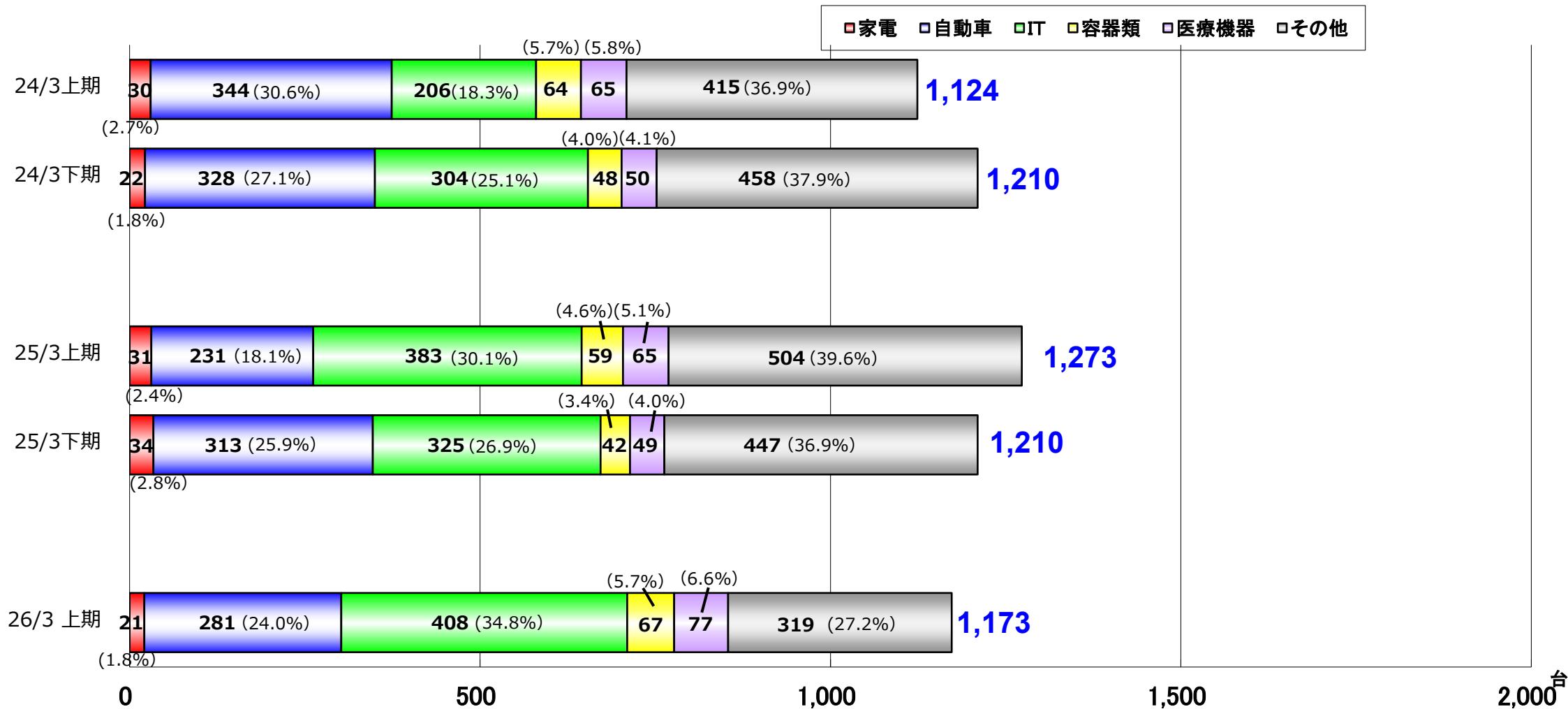
連結キャッシュフロー ~現金及び現金同等物の増減~



射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、出荷の大半を占めている。

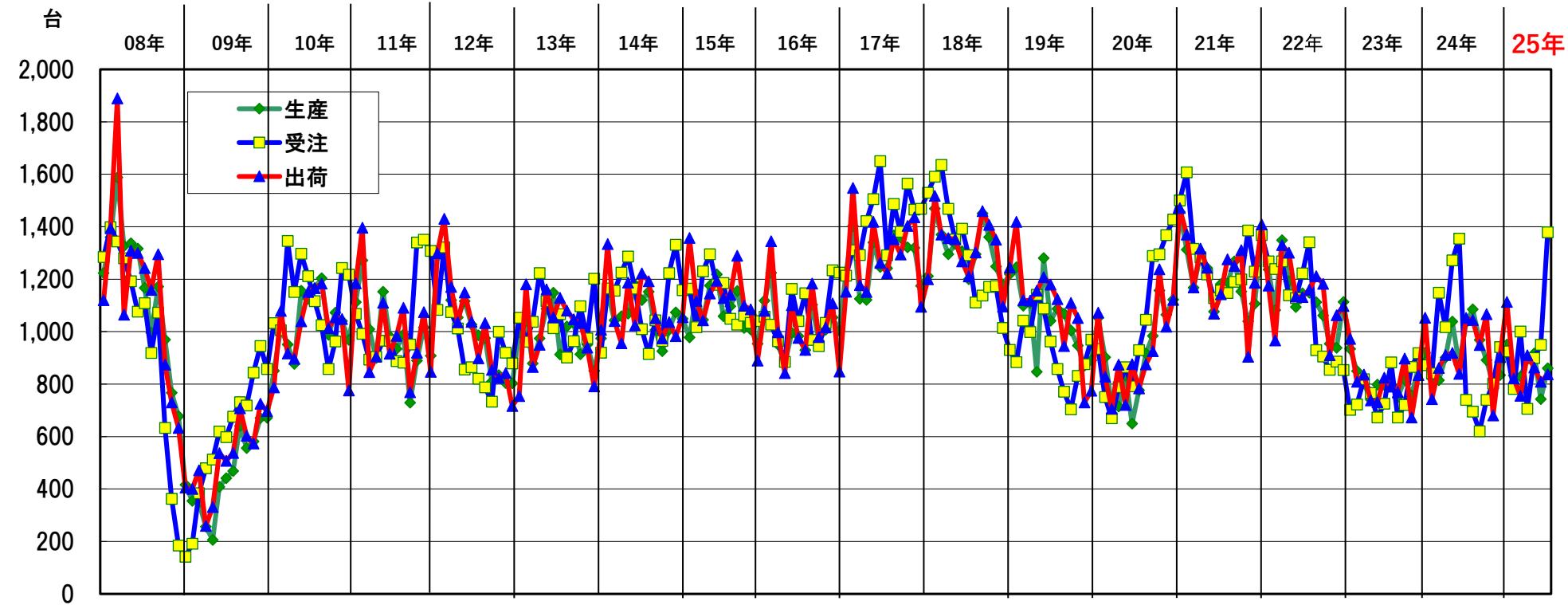
2026/3期 上期
 >自動車…国内横ばい・海外緩やかな持ち直し
 >IT…東アジアを中心に堅調



足元の需要動向（全国・当社）受注推移等について

射出成形機 受注/生産/出荷の推移 (全国 2008年からの推移)

全国推移 (国内生産分のみ)



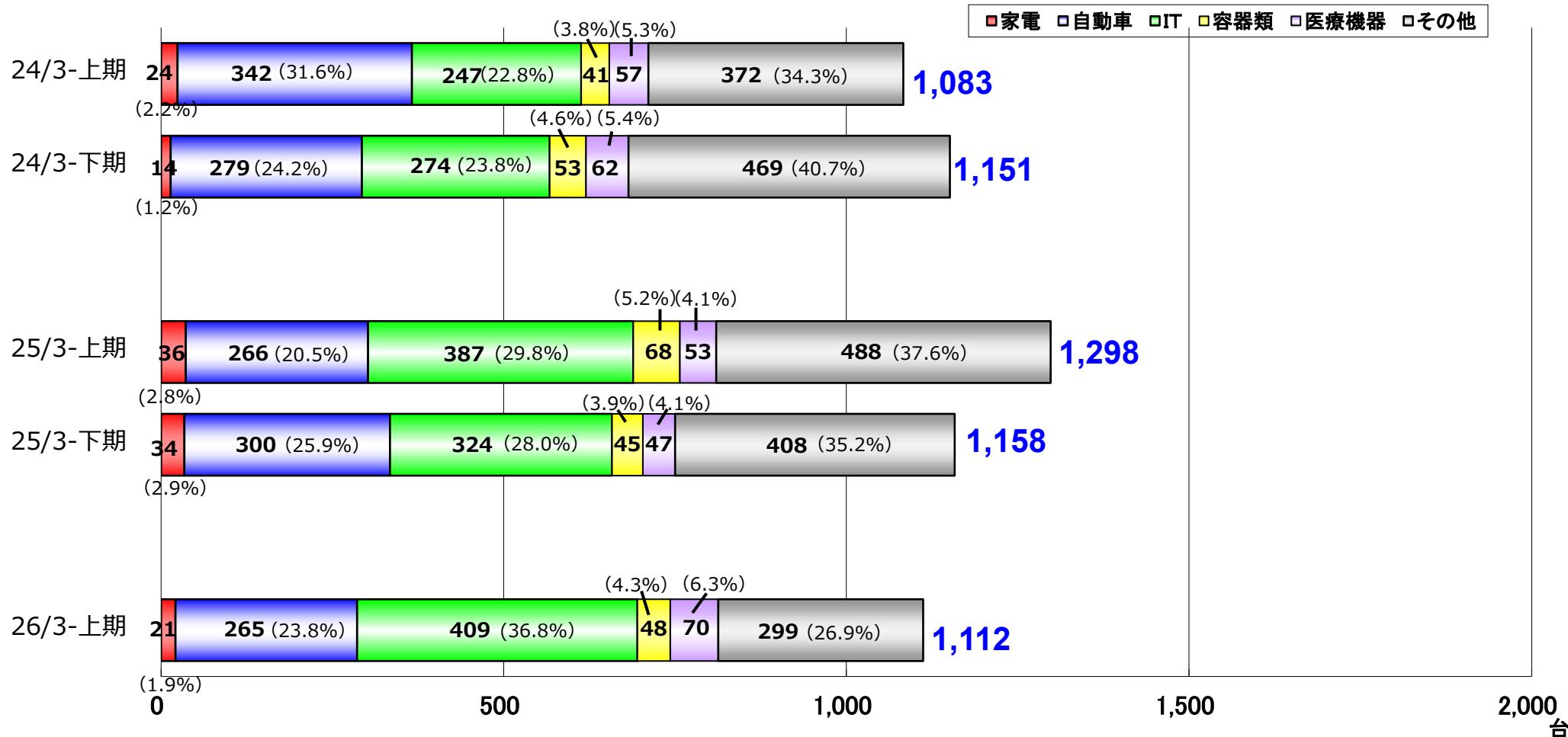
出所:日本プラスチック機械工業会 統計

射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

・26/3期上期の受注台数は1,112台。前年同期比14.3%減。

・自動車は国内減少・海外緩やかな持ち直し。

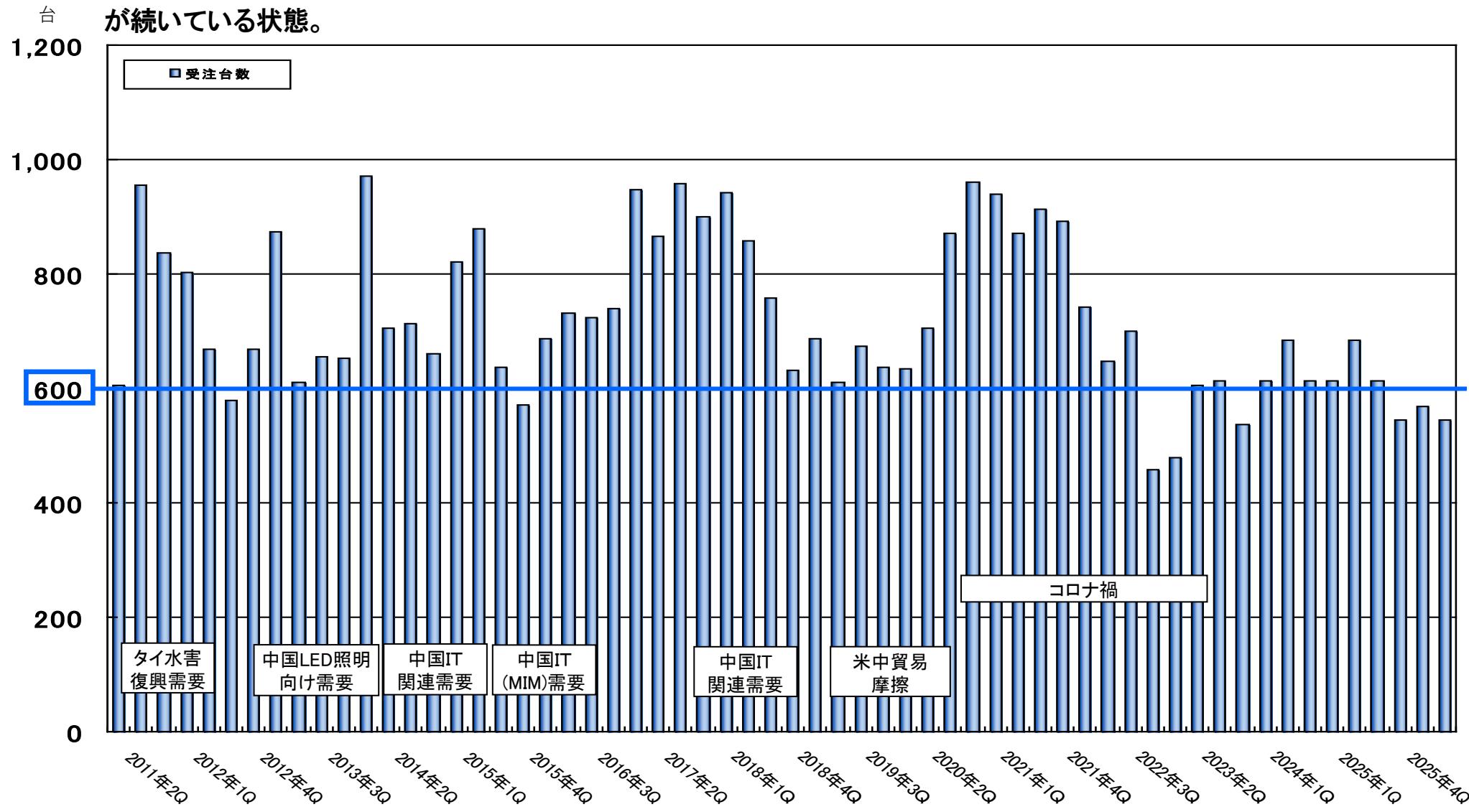
・IT関連は東アジア向けを中心に堅調に推移



射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

※単体における契約ベース

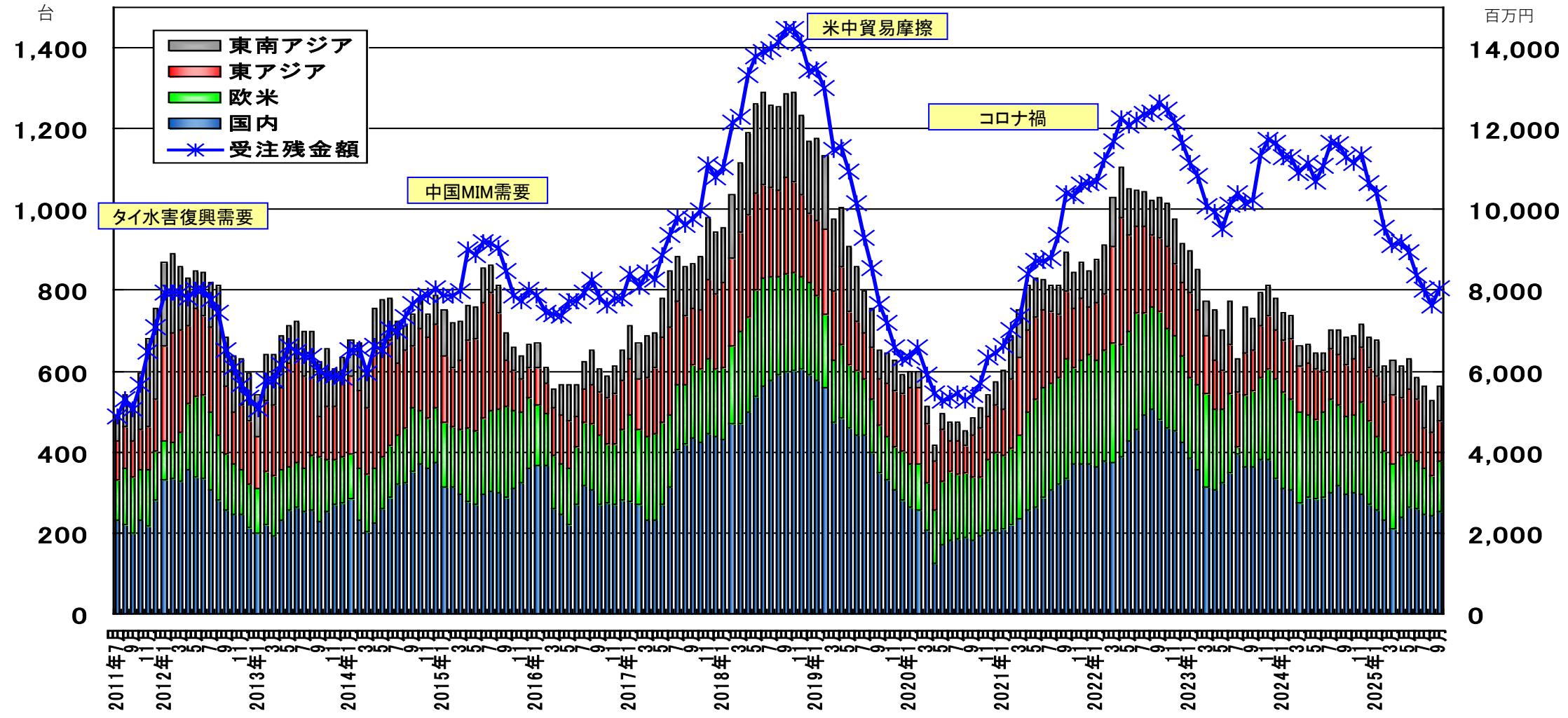
需要に大きくブレーキがかかっていた2023年5月を底に緩やかな持ち直しを見せたが、回復には至らず需要の不安定さが続いている状態。



射出成形機の地域別受注残台数推移(当社)

※単体における契約ベース

国内外で自動車関連を中心に積みあがった受注残が徐々に出荷されてきたことで台数、金額とも漸減。
足元は、受注環境は軟調で、積み上がりにくい状況が続いている。



トピックス

展示会情報①

K展2025に出展

2025.10.8-10.15



▲会場の様子

✓ ドイツ・デュッセルドルフで3年に1度開催される、世界最大級のプラスチック・ゴム産業の展示会に出展。『Inclusive Growth』をメインテーマに、サーキュラーエコノミーの実現に繋がる廃プラスチックのリサイクル技術、省エネ・省スペースや工場自動化などモノづくり現場の環境負荷低減に向けた循環型ソリューション技術を提案しました。



展示会情報②

NISSEI RED EXHIBITION in 群馬 を開催 2025.10.23-25

- ✓ 群馬県および関東エリアの自動車関連産業のお客様を中心に、車載用大型グリル・パネルへの新たな提案、縦型インサート成形の実現、環境対応樹脂の新技術など、自動車部品向けの多様なソリューション技術を提案しました。



▲会場の様子

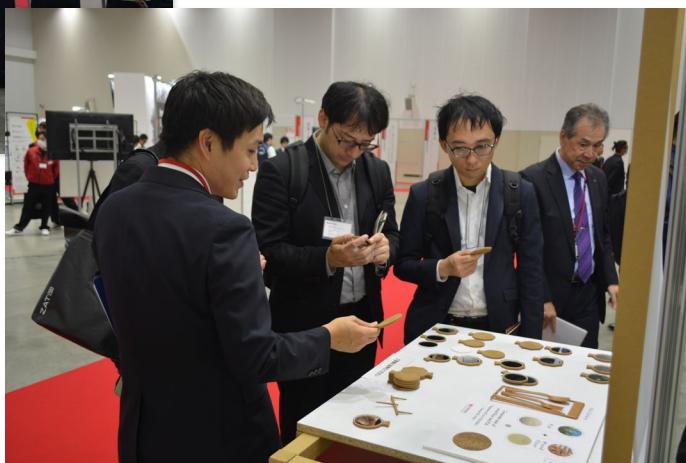


▲新型ハイブリット式射出成形機
FWX970III-200B



▲空調パネル

- ✓ 2クラスダウンの超省スペース成形機
- ✓ 低圧成形システム“SAPLI”シリーズ



▲手鏡

- ✓ 環境対応樹脂の鏡インサート成形
- ✓ 低圧成形システム“SAPLI”シリーズ



◀ ハイブリット式
縦型射出成形機
TNX75RIII12V

2026年3月期計画について

経営方針

1. グローバル経営の強化
2. 人的資本の拡充
3. DX技術を駆使した製品の更なる進化
4. 積極的な営業展開
5. 生産体制の強化
6. リスク管理体制の強化

2025年3月期中間期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2025/3期	2026/3期		対通期計画 進捗率%
	実績	中間期実績	通期計画 (2025.6.30開示)	
売 上 高	47,493	22,505	44,200	50.9%
営 業 利 益	442	△1,057	1,000	—
(利益率)	0.9	—	2.3	—
経 常 利 益	343	△449	900	—
(利益率)	0.7	—	2.0	—
当 期 純 利 益	76	△824	550	—
(利益率)	0.2	—	1.2	—

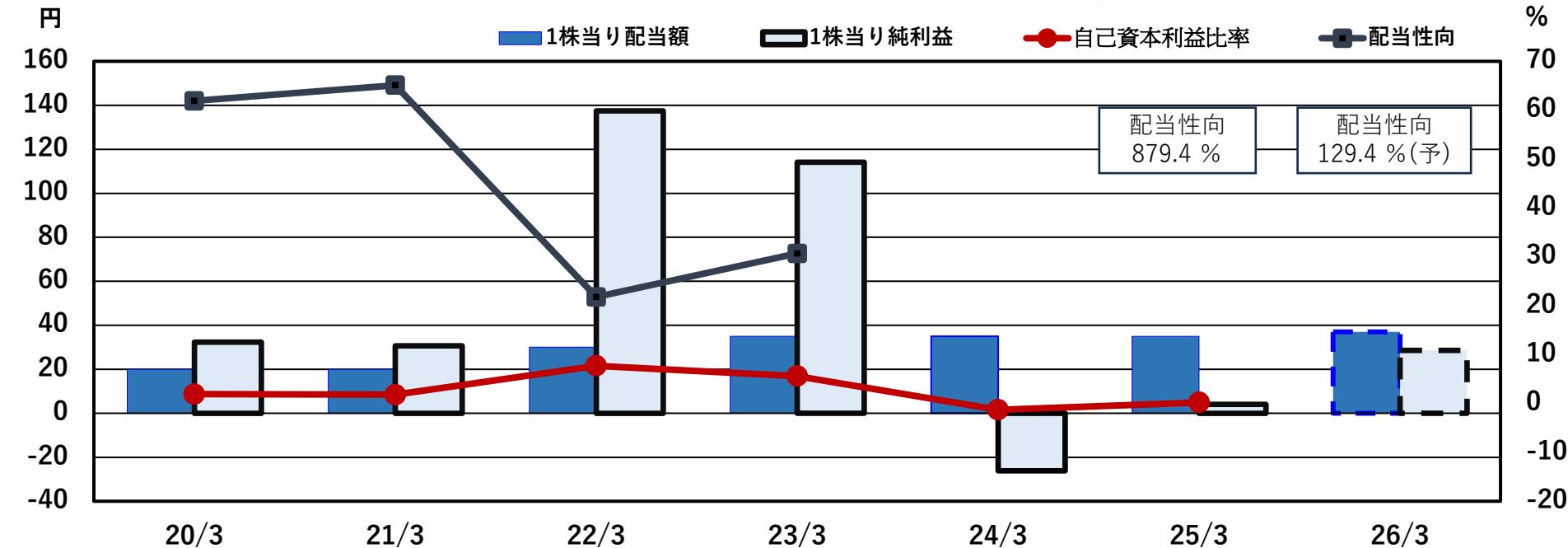
連結設備投資・研究開発計画

	百万円
2026年3月期 中間実績	
主な設備等	
第3工場ホイスト交換	5
第7工場ホイスト交換	10
PLA木粉コンポジット量産用設備	41
海塩工場設備費用(建物・構築物・建仮)	103
その他設備維持投資、ソフトウェア等	178
設備投資総額	337
本社出資	
減価償却費	840
研究開発費	214

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・2026年3月期 年間配当は、1株につき37.00円(中間16.00円、期末21.00円)を予定。



	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期	2026/3月期 (予想)
1株当たり純利益	32.30円	30.71円	137.43円	114.13円	△26.16円	3.98円	28.59円(予)
1株当たり配当額	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円	35.00円	37.00円(予)
中間配当	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円	15.00円	16.00円
期末配当	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円	20.00円	21.00円(予)
配当性向	61.9%	65.1%	21.8%	30.7%	-	879.4%	129.4%(予)
自己資本利益率	1.9%	1.8%	7.7%	5.6%	△1.3%	0.2%	-



日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
